Good food, Good life

ネスレ考働規範

Nestlé way に基づくビジネスの実践

Po

遵守必須ポリシー
General Use

発行部門
グループ法務・コンプライアンス

対象
全社員

承認者
取締役会
エグゼクティブボード

承認日
2025年4月

文書保管場所
ネスレの諸原則およびポリシー、基準およびガイドラインはすべて、
Our Nestの「NestléDocs」で閲覧できます。

著作権および情報の保護
すべての権利はSociété des Produits Nestlé S.A., Vevey, Switzerland に帰属します。
©2025, Société des Produits Nestlé S.A.

※　“Nestle Codo of Business Conduct（EN）”を日本語に翻訳したものです。翻訳文に疑義又は解釈の相違がある場合は英語版を優先するものとします。
日本語訳版発行部門　ネスレ日本株式会社　コンプライアンス委員会

目次

ネスレ会長およびCEOからのメッセージ	**4**
私たちの信念	**5**
第1章: 考働規範について	**6**
考働規範の使い方	8
正しい行動をとる：Nestlé　wayに基づく判断基準	9
本規範（および法令）の遵守	10
声を上げよう（SpeakUp）	11
第2章: 私たちの消費者	**12**
製品の品質と安全性の確保に尽力します	13
責任あるマーケティングコミュニケーションを行います	14
第3章: 私たちの社員とバリューチェーン	**15**
安全で健康な職場環境を作ります	16
お互いに敬意を払います	17
人間の尊厳を守り、人権を尊重します	18
責任ある調達で地球の保全に取り組みます	19
第4章: 私たちのビジネスに対する誠実さ	**20**
利害関係の対立の回避と開示を行います	21
贈答品、接待に対して責任ある行動をとります	23
賄賂と汚職を禁じます	24
正確な記録を保持して詐欺行為を防止します	26
会社の財産を保護します	27
機密情報を保護します	28
インサイダー取引のルールを守ります	29
マネーロンダリングとテロ資金供与を防止します	30
貿易制裁を遵守します	31
全力で公正に競争へ臨みます	32
責任ある情報発信とアドボカシー（提言）に取り組みます	33
データを倫理的に管理します	34
資料	**35**
用語集	**36**

ネスレ会長およびCEOからのメッセージ

社員のみなさんへ

期待に満ちた新しい章の始まりに、私たちはこれまで以上に消費者、顧客、そして社員をすべての事業活動の中心に据えることに注力しています。

パーパスに動機づけられ、そし価値観に導かれ、私たちの象徴的なブランドのポートフォリオで消費者に喜びを届けることにより、業界のトップの地位となる機会が訪れているのです。

この考働規範は、こうした道のりを手助けするものです。ネスレの価値観や経営の諸原則を守り、私たち自身そして相互に求められる高い基準で行動するための実践的な指針が示されています。

この考働規範を読んで、その内容について同僚と話し合ってください。不明な点があれば、上司や法務部またはコンプライアンス担当部門の担当者に相談してください。私たちは、日々、世界中のあらゆる事業活動において、個人そしてチームとして正しい行動をする責任を担っているのです。

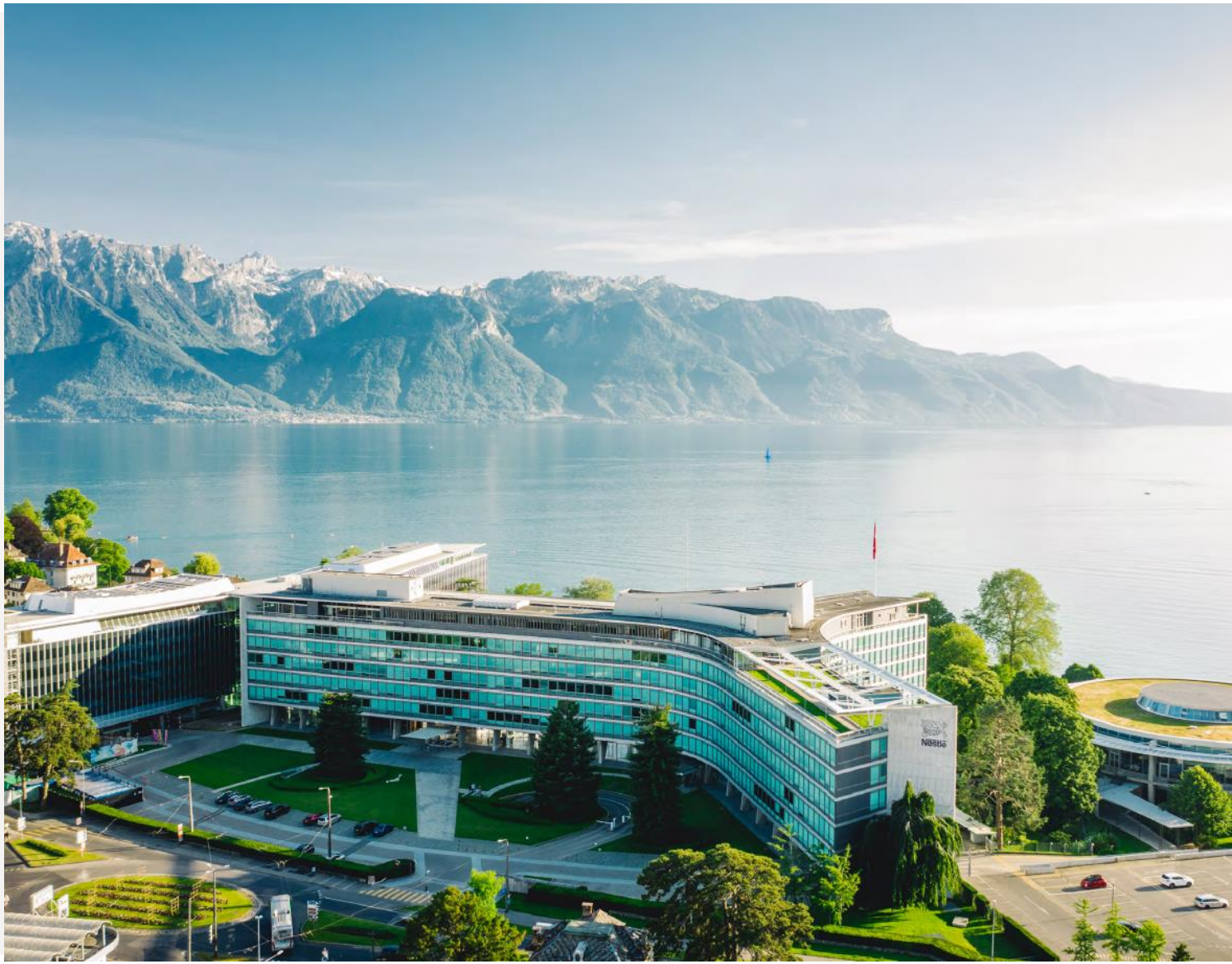
ネスレ考働規範または法令に違反する行動に気づいた場合または不審に思った場合、必ず声を上げてください。社内での不適切な行為に関する誠実な声には必ず耳を傾けますので安心してください。

ネスレ事業の成功の鍵を握っているのは私たちなのです。

一緒にWe make Nestlé。

会長
パブロ・イスラ

CEO
フィリップ・ナヴラティル



考働規範について

私たちの信念

食の持つ力で、現在そしてこれからの世代のすべての人々の生活の質を高めていきます。

私たちの価値観

私たちの価値観である「敬意」（自分自身に対する敬意、他者に対する敬意、多様性に対する敬意、未来に対する敬意）は、ネスレのあり方、そしてその存在意義の実践方法をシンプルに表したものです。この価値観は、150年以上にわたる事業活動を導き、そしてインスピレーションを与えてきました。そして、今もなお、世界中で日々行われるすべての事業活動にインスピレーションを与え続けています。

私たちの諸原則

ネスレの経営に関する諸原則は、企業としての経営のあり方に加え、株主、顧客、社員、ビジネスパートナー、そして社会全体に対する責任を示しています。これらの原則は、誠実に事業を運営し、その道のりにおいて共通価値を創造するための枠組みとなります。

私たちの考働規範

ネスレの考働規範は、コンプライアンス制度の基盤となるものです。ネスレ社員に求められる行動を規定し、どのように「Nestlé way」に基づいて行動するかの指針を示しています。

第1章: 考働規範について

考働規範の使い方	8
正しい行動をとる：Nestlé wayに基づく判断基準	9
本規範（および法令）の遵守	10
声を上げよう（SpeakUp）	11

We make Nestlé

ネスレは、栄養、健康、ウェルネス分野で世界をリードする企業です。消費者や顧客の皆様に卓越した製品をお届けしつつ、人々の生活向上に尽力しています。

私たちの情熱とイノベーションは、ゆるぎない誠実さと実践されている価値観と合わさって、株主と社会に対して持続的な価値を生み出しています。

それが「Nestlé way」です。

考働規範の使い方

この考働規範（以下「本規範」といいます。）は、あらゆる活動において社員に期待される行動基準を定めたもので、全社員に適用されます。

本規範は、あらゆる状況における回答を示すものではありませんが、ネスレ社員が誠実さをもって行動し、倫理的な判断を下す上での枠組みを定めたものです。重要資料のリンクや懸念点・助言が必要な際の相談窓口等の情報も確認できます。本規範は、定期的に見直され、必要に応じて改訂されます。

ネスレ社員が従うべき「基本原則」：

- ネスレ考働規範を知っており、自らの業務にいかに適用されるかを理解します。
- あらゆる活動において敬意と倫理観をもって正直に行動します。
- ネスレの事業に適用される法規制を正しく理解します。
- ネスレやその名声に損害を及ぼしうる行為を避けます。
- 必須トレーニングを受講します。
- 行動または判断に迷いがある場合は助言を求めます。
- 不審な点に気づいたら声を上げます（SpeakUp）。

マネジャー・チームリーダー（People Manager）

マネジャー・チームリーダーは、あらゆる行動において模範を示すことが求められています。

- 本規範について話し合いを持ち、事業成果は常に誠実さをもって達成されるべきであることをチームメンバーと再確認します。いかに目標を達成するかは、何を達成したかと同様に重要なのです。
- 自らの役職で直面しうるリスクやその対処方法についてチームメンバーが認識していることを徹底します。
- チームメンバーが必須トレーニングを完了していることを確認します。
- 適用される法規制をチームメンバーが確認できるようにしてコンプライアンス文化を醸成します。チームの質問に回答できるよう準備し、必要な場合に参照できる資料がどこにあるかを確認しておきます。
- 社員が自信と安心感をもって問題を声を上げる（SpeakUp）ことができる、敬意、信頼およびインクルーシブ（包摂性）に溢れる職場環境を促進します。

本規範の対象者は？

本規範の遵守は、取締役、執行役員、People manager、一般社員、臨時社員を含むすべてのネスレ社員に義務付けられています（ネスレで働く派遣社員や請負社員も本規範の遵守が推奨されています。）。**ネスレグループ子会社**の全社員にも適用されます。

当社のサプライヤーおよびビジネスパートナーには、ネスレ責任ある調達の基本要件および 経営に関する諸原則に定める倫理的慣行と同等の基準に従うことが期待されます。

正しい行動をとる：**Nestlé way**に基づく判断基準

私たちは常に良識的な判断をすべく全力を尽くしていますが、特定の状況で何が正しい行動か迷う場面もあるでしょう。

判断が難しい場合や通常とは異なる依頼があったときは、以下の質問を自らに問いかけてみてください。正しい行動（Nestlé way）の判断に役立つはずです。

01 この決断は、法律に基づいていますか？

02 この決断は、ネスレの価値観、経営に関する諸原則、各方針と一致していますか？

03 この決断を同僚、家族や友人に自信をもって説明できますか？

04 この決断がネスレに悪影響を及ぼさない自信がありますか？

05 この決断を下す権限が自分にありますか？

上記いずれかの問いに対する答えが「**いいえ**」または「**分からない**」という場合、正しい行動ではない可能性があります。まずは、**people manager**、人事部または法務部・コンプライアンス担当部門に相談をしてみてください。

本規範（および法令）の遵守

私たちは、本規範および各国の法令を遵守することを真摯に受け止めています。

本規範および法令の違反は、消費者、顧客、同僚およびビジネスパートナー、会社、あなた自身を巻き込む深刻な事態を招くおそれがあります。

本規範、経営に関する諸原則、企業方針に従わなかった者は、解雇処分を含む懲戒の対象となる場合があります。深刻なケースでは、ネスレまたは社員個人が民事・刑事責任に問われることもあります。

ネスレの全社員が適用される法規制に従わなければなりません。現地の法規制と本規範の間に齟齬がある場合または不明点がある場合は、法務部またはコンプライアンス担当部門に指示を仰いでください。

声を上げよう（SpeakUp）

私たちに求められる高水準の誠実さをネスレ全社で実践していくことは、全社員に課せられた責任です。ネスレは、社員があらゆる懸念点について安心してオープンに報告できる文化を積極的に推進しています。

本規範に反する事象に気づいた場合、本規範に反する行動を強いられた場合、またはネスレの価値観、本規範、経営に関する諸原則、方針または法令に反する事を頼まれた場合、私たち社員は声を上げ（SpeakUp）なければなりません。

ネスレにおける通報手段：

上長、人事部、法務部、コンプライアンス担当部門に相談してください。

匿名で利用できるSpeak Upシステム（通報専用窓口）を通して懸念点を通報してください。独立した第三者組織が運営しており、毎日**24**時間どこからでも利用できます。現地の法律で認められる限り、匿名での通報が可能です。

通報後、詳しい情報の提供を求められる場合があります。公正かつ中立な調査が実施された後、守秘義務およびプライバシー保護の観点から可能な限り、通報者にも調査に関する報告がなされます。全社員は、不正行為の疑いに関する社内調査に協力しなければなりません。

ネスレのSpeak Upシステムは、ネスレ社員および外部の関係者（社外のステークホルダー）も利用することが可能です。

秘密保持および報復の禁止

不正行為の疑いに関して**誠実な**報告があった場合、綿密な調査の実施とともに、通報者の秘密保護にも全力を尽くします。通報に間違いがあったとしても通報者が罰せられることはありません。あらゆる関係者の権利も保護されます。

誠実な通報者への報復は厳重に禁止されています。ただし、意図的に虚偽のまたは誤解を招く通報をすることは容認されず、懲戒措置の対象となります。民事・刑事訴訟に発展する場合もあります。

報復とは？

報復とは、懸念点の通報または調査協力をした個人に対して、通報や調査への協力を理由として不利益な行為や不当な扱いがなされることです。脅迫、昇給または昇格の拒否、降格またはチーム内で孤立させる等の扱いが含まれます。懸念点の報告を理由に自分または他者が報復を受けていると感じたら、速やかに通報してください。ネスレは、誠実に懸念点を報告した人に対するあらゆる報復を一切容認しません。

声を上げよう（Speak Up）

People manager、人事部、法務・コンプライアンス担当部門に相談するか、**Speak Upシステム**（通報専用窓口）を通して懸念点を報告してください。

第2章: 私たちの消費者

製品の品質と安全性の確保に尽力します 13

責任あるマーケティングコミュニケーションを行います 14

製品の品質と安全性の確保に尽力します

Nestlé way

ネスレブランドは、製品が安全かつ最高品質であることを消費者の皆様に保証するものであるべきです。

卓越した製品の安全性と品質への私たちのコミットメントは、設計や製造から製品の配送、さらには消費者体験やアフターサービスに至るまで、隅々にまで浸透しています。私たちは、事業を展開するすべての拠点で強固な製品安全性を品質の文化を推進し、育んでいます。

事業を展開するすべての拠点で、強固な製品安全性と品質の文化を推進し、育んでいます。

日々の業務姿勢

- ✓ 製品の安全性、品質および法令遵守は、まさに社員の行動の成果といえます。誰も見ていない場所でも、安全や品質に関する規則、方針、基準を理解した上で、これらの遵守を行います。
- ✓ 製品の安全性に対するリスクをることや妥協は絶対に許されません。些細なことだとと思っても、製品の安全性に重大な影響を及ぼす可能性があるのです。
- ✓ 不審な点に気づいたら、必ず声をあげて（SpeakUp）ください。問題の防止および解決に向けた行動をとることで、消費者からの信頼を獲得し、ネスレの評判を維持することに貢献できます。

本規範の実践

Q. シフト開始時点で、金属探知機の点検が3時間も実施されていないことに気づきました。標準手順では毎時間の実施が義務付けられています。どうしたらいいでしょう？

A. ネスレの規則・手順の不遵守は、製品の安全性に悪影響を及ぼす可能性があります。速やかに上長やチームリーダーに報告して、実施すべき措置について指示を仰いでください。

Q. 時間的な制約があったので、自身のプロジェクトで十分な賞味期限試験を実施できず、類似製品のデータをもとに賞味期限を設定しました。ですが、賞味期限が想定よりも短いとの消費者からの申し立てがありました。今後どうすべきでしょうか？

A. 製品の安全性と品質は設計段階から始まります。お客様の申し立ての根本的な原因を調査し、それが製品設計の欠陥に起因しているかどうかを確認して、解決策を探る必要があります。

資料

ここをクリックして、詳しい情報や社内資料を確認してください。

声を上げよう（Speak Up）

People manager、人事部、法務・コンプライアンス担当部門に相談するか、**Speak Upシステム**（通報専用窓口）を通して懸念点を報告してください。

本規範について不明な点がある場合は、People manager、法務・コンプライアンス担当部門に相談してください。

責任あるマーケティングコミュニケーションを行います

Nestlé way

ネスレのブランド、ロゴ、スローガンは、世界で愛され広く認知されています。そのマーケティングコミュニケーションは、消費者の生活にポジティブな影響を与える力を持っているがゆえに、大きな責任も伴うのです。

私たちは、消費者が十分な情報に基づいて選択できるように、責任ある信頼性の高いマーケティングコミュニケーションに取り組んでいます。私たちの広告は、世界中の消費者に敬意を払い、広く社会を反映することを目指しています。また、製品の栄養や健康への影響について、有益でわかりやすく関連性のある情報を提供しています

また、社内ガイドラインや現地の法規制に基づき、幼児・子ども向けの製品のマーケティングコミュニケーション）には細心の注意を払っています。幼児向けの食品については、世界保健機関（WHO）の「**母乳代用品のマーケティングに関する国際規準**」の実施方針に従って販売を行っています。

消費者が十分な情報に基づいた選択をできるよう、責任ある信頼性の高いマーケティングコミュニケーションに取り組んでいます。

日々の業務姿勢

- ✓ ネスレのコミットメントおよび各国の広告宣伝規則に従い、誠実かつ責任ある方法で消費者に情報を提供します。
- ✓ 消費者の多様性を反映し、インクルーシブ（包摂的）なキャンペーンを展開します。
- ✓ 正確な情報提供を通して、誠実で透明性のあるネスレ製品の販売およびラベル表示を行います。
- ✓ 子どもや若者を対象とするマーケティングキャンペーンには特段の注意を払い、社内ガイドラインに従うことで、節度ある消費、健康的なライフスタイルおよび栄養バランスの取れた選択を推進します。そうすることで親や保護者が子どものために責任ある選択ができるよう支援します。

本規範の実践

Q. 子どもを対象としない製品の場合でも、「子どもへのマーケティングコミュニケーションに関するネスレのポリシー」に従う必要がありますか。

A. はい。すべてのネスレ製品には、「子どもへのマーケティングコミュニケーションに関するネスレのポリシー」が適用されます。また、6歳以下の子どもに対してマーケティングコミュニケーションを行うことはなく、18歳未満のインフルエンサーとは契約しません。また、マーケティングコミュニケーションを目的として18歳未満の未成年者から個人情報を収集することもありません。追加制限対象カテゴリー・製品について、16歳未満の子どもを対象としたペイドメディアの広告を行いません。

資料

ここをクリックして、詳しい情報や社内資料を確認してください。

声を上げよう（Speak Up）

People manager、人事部、法務・コンプライアンス担当部門に相談するか、**Speak Upシステム**（通報専用窓口）を通して懸念点を報告してください。

本規範について不明な点がある場合は、People manager、法務・コンプライアンス担当部門に相談してください。

第3章: 私たちの社員とバリューチェーン

安全で健康な職場環境をつくります 16
お互いに敬意を払います 17
人間の尊厳を守り、人権を尊重します 18
責任ある調達で地球の保全に取り組みます 19

安全で健康な職場環境をつくります

Nestlé way

社員は、私たちの事業の中心であり、社員の安全、健康およびセキュリティはネスレの最優先事項です。ネスレの価値観である敬意に根差した安全でサポート体制の整った職場づくりを推進します。

社員一人ひとりが、安全で健康的な企業文化を守り、業務上の事故や病気を防ぎ、ネスレの事業所内で働く社員、関係者および外部のビジネスパートナーを保護する責任を担っています。無事故・無災害の職場環境を目指してパフォーマンスを継続的にモニタリングし、継続的な業務改善に取り組みます。

無事故・無災害の職場環境を目指してパフォーマンスを継続的にモニタリングし、常に業務改善に取り組みます

日々の業務姿勢

- ✓ ネスレの「人命を守るためのルール」および社員の活動に適用される安全衛生手順を理解・実践します。 安全性に関して妥協をすることは決して許されません。
- ✓ 予防可能なリスクを積極的に特定、評価および管理して、安全面の懸念点、健康リスクまたはセキュリティインシデントを速やかに上長、各国の安全衛生担当チーム、またはネスレグループのセキュリティチームに報告します。
- ✓ 細心の注意を払って自らや同僚の安全と健康を守ります。誰かが辛そうにしているのに気づいたら、助けが必要か声がけをしてください。

本規範の実践

Q. 工場の機械が通常より急速に加熱していることに気づきました。何の対処も施されていないようです。どうすればいいでしょうか？

A. 安全性に妥協はありません。今の作業を停止して、その場にいる同僚に差し迫った危険がないことを確認してください。監督者（可能であれば、現場の安全衛生担当者）に連絡し、必要に応じて適切な安全対策を速やかに行えるようにしてください。

Q. 最近、同僚が大きなストレスを抱えているようで、不安の兆候も見受けられます。どのようにサポートしたらいいでしょうか？

A. メンタルヘルスは、身体的な健康と同様に大事なものです。原因が複数ある可能性もあるので慎重かつ思いやりをもって相手に接し、現状について上長やHRBPに相談するよう勧めるのも良いでしょう。

資料

ここをクリックして、詳しい情報や社内資料を確認してください。

声を上げよう（Speak Up）

People manager、人事部、法務・コンプライアンス担当部門に相談するか、**Speak Upシステム**（通報専用窓口）を通して懸念点を報告してください。

本規範について不明な点がある場合は、People manager、法務・コンプライアンス担当部門に相談してください。

お互いに敬意を払います

Nestlé way

ネスレにおいて「敬意」という言葉には特別で力強い意味合いがあります。それは私たちの働き方やビジネスの運営に深く影響を与えています。私たちの人材とビジネスの潜在能力を最大限に引き出す助となっています。私たちの包括的な職場環境は、誰もが協力的で尊重しあう環境の中で活躍し、自分が評価され、安全だと感じられる場所です。私たちはすべてのコミュニティ、文化、年齢層の多様性を推進し、ジェンダーバランスの向上と平等な機会の提供に継続的に取り組んでいます。あらゆる形態の暴力、ハラスメント、差別に対しては断固たる態度で臨んでいます。

日常的な業務姿勢

- ✓ すべての人に敬意と尊厳をもって接します。多様性のある視野を尊重します。
- ✓ 社内外で自分の言動が他者にどのような影響を与えるかに注意を払います。 意図せずとも、ある言動や冗談が相手に不快な感情を与えることがあります。
- ✓ 差別的な行動やハラスメントに関わったり、容認したりしてはいけません。そのような場面に遭遇したら、慎重に介入する、サポートを申し出る、People managerやHRBPに相談する、またはSpeak Upを通して通報してください。

社内における文化や考え方の多様性を大切にします

本規範の実践

Q. 発音をからかったり、チームミーティングに招待しない等、数名の社員が新規採用者に対して不快な態度をとっていました。それについて指摘をしたら「ただの冗談なんだし、本気にするなよ」と言われました。どうしたらいいでしょう？

A. 相手をからかう行為は、相手を見下す失礼な行為である場合があります。チームから孤立させるような行為もハラスメントとみなされる場合があります。上長またはHRBPに相談するか、Speak Upを使用してください。同じ懸念を持つ人にも報告をするよう促しましょう。

気づいたらSpeak Up(報告)を！

職場における暴力やハラスメントは多岐にわたり、その例は以下のとおりです。

- 中傷的な発言
- 言動による脅迫
- 不快感を与える、人を見下す冗談
- 身体的な暴行や妨害
- 不快な身体的接触
- 性的な言動
- いじめ

以下を含む保護対象となる種類の差別も禁止されています。

- 国籍
- 宗教
- 人種
- ジェンダー
- 年齢
- 障がい
- 性的指向

資料

ここをクリックして、詳しい情報や社内資料を確認してください。

声を上げよう（Speak Up）

People manager、人事部、法務・コンプライアンス担当部門に相談するか、**Speak Upシステム**（通報専用窓口）を通して懸念点を報告してください。

本規範について不明な点がある場合は、People manager、法務・コンプライアンス担当部門に相談してください。

人間の尊厳を守り、人権を尊重します

Nestlé way

人権の尊重は、私たちの最も長く続く基本的な価値観の一つです。作物を育てる農家から、サプライチェーンの労働者、同僚、消費者、お客様、そしてその間で影響を受けるすべての人々に至るまで、私たちは人々が自分自身と家族をより良く支えられるよう、公正な移行を目指して取り組んでいます。

ネスレの事業活動とバリューチェーン全体において、「国連指導原則」と「国連グローバル・コンパクト（UNGC）」の10原則に沿って人権を尊重し、推進します。

また、特に脆弱なグループに焦点を当てながら、損害の軽減と是正に向けた取り組みについてステークホルダーとの対話を継続的に行っています。

さらに、サプライヤーやビジネスパートナーにも同様の基準を遵守し、バリューチェーン全体でリスクを管理することを期待しています。

ネスレが注力する人権問題

- 児童労働と教育へのアクセス
- 強制労働の排除と責任ある人材採用
- 生活可能な所得と賃金
- ジェンダー平等、差別禁止、ハラスメント防止
- 職場の安全衛生
- 結社の自由と団体交渉権
- 水と衛生に対する権利
- 先住民族および現地コミュニティの土地権利
- 個人情報の保護とプライバシーの尊重
- 食料への権利と栄養価が高く手頃で十分な食事へのアクセス

日々の業務姿勢

- ✓ 「Nestlé Human Rights Framework and Roadmap」に記載されるネスレの人権に対するコミットメントを理解します。
- ✓ 業務および意思決定に人権尊重の視点を取り入れます。社内外で出会う人々の労働環境に配慮し、自らの業務範囲内における意思決定が人々や地域社会に及ぼす影響について注意を払います。
- ✓ 特に、新しいサプライヤー、製品、業務プロセス、パートナーシップを検討する際には、自分の業務に関連する人権リスクや適用される方針について把握します。

本規範の実践

Q. **サプライヤーを訪問した際、驚くほど若い労働者がいたことに気づきました。未成年の可能性もあります。どうするべきでしょう？**

A. 児童労働は深刻な問題です。もしサプライヤー、顧客、ビジネスパートナーのいずれかで問題があると疑われる場合は、直属の上司や法務・コンプライアンス部門に相談するか、Speak Upシステム（通報専用窓口）を通じて報告してください。私たち一人ひとりがネスレにおける人権を守り、バリューチェーン全体のすべての人が尊厳と敬意を持って扱われるよう努めなければなりません。私たち一人ひとりがネスレにおいて人権を守るために、自らの役割を果たし、バリューチェーン全体のすべての人々が尊厳と敬意をもって扱われるように努めなければなりません。

資料

ここをクリックして、詳しい情報や社内資料を確認してください。

声を上げよう（Speak Up）

People manager、人事部、法務・コンプライアンス担当部門に相談するか、**Speak Upシステム**（通報専用窓口）を通して懸念点を報告してください。

本規範について不明な点がある場合は、People managar、法務・コンプライアンス担当部門に相談してください。

責任ある調達で地球の保全に取り組みます

Nestlé way

ネスレは、世界最大規模の食品・飲料企業と々、地域社会、気候、そして未来の食のエコシステムに対してポジティブな影響をもたらすことができます。

私たちは、温室効果ガス排出量の実質ゼロへの取り組み、リサイクル可能なパッケージングを通した循環型経済の推進、資源の効率的な活用を通じて、地球に良い影響を与えることを目指しています。さらに、バリューチェーンを通して「Responsible Sourcing Core Requirements（ネスレ責任ある調達基準）」を実施することで、公正な移行や環境再生型の食料システムの大規模な推進を目指します。

温室効果ガスのネットゼロ排出に向けて取り組むことで、地球に良い環境を与えることを目指しています。

日々の業務姿勢

- ✓ 職場での行動がカーボンフットプリントや自然環境にいかなる影響を与えるかに注意を払いましょう。可能な限り削減、再利用およびリサイクルを心がけ、マイナスの影響を軽減するための措置を講じてください。
- ✓ ネスレのビジネスパートナーの選定および入札手順に従うことで、誰と取引しているかを確実に把握しましょう。
- ✓ 当社の基準に違反する行為に適切に対処します。サプライヤーやビジネスパートナーは、ネスレと取引をするにあたり、「Responsible Sourcing Core Requirements（ネスレ責任ある調達基準）」を遵守しなければなりません。

本規範の実践

Q. 地元のサプライヤーが自然林を転換した土地で生産を拡大しているという噂を耳にしました。正しいことなのか疑問に思います。何か対応すべきでしょうか？

A. はい、対応すべきです。サプライヤーは責任ある調達の基本要件を遵守し、これらの義務に違反している場合はネスレに直接通知しなければなりません。もし通知がなされていない場合は、上長や法務・コンプライアンス部門に報告するか、Speak Upシステム（通報専用窓口）を利用して適切に調査されるようにしてください

資料

ここをクリックして、詳しい情報や社内資料を確認してください。

声を上げよう（Speak Up）

People manager、人事部、法務・コンプライアンス担当部門に相談するか、**Speak Upシステム（通報専用窓口）**を通して懸念点を報告してください。

本規範について不明な点がある場合は、People manager、法務・コンプライアンス担当部門に相談してください。

第4章:
私たちのビジネスに対する誠実さ

利害関係の対立の回避と開示を行います	21
贈答品、接待に対して責任ある行動をとります	23
賄賂と汚職を禁じます	24
正確な記録を保持して詐欺行為を防止します	26
会社の財産を保護します	27
機密情報を保護します	28
インサイダー取引のルールを守ります	29
マネーロンダリングとテロ資金供与を防止します	30
貿易制裁に関するを遵守します	31
全力で公正に競争へ臨みます	32
責任ある情報発信とアドボカシー（提言）に取り組みます	33
データを倫理的に管理します	34

利害関係の対立の回避と開示を行います

Nestlé way

ネスレは、仕事以外でも人間関係を築き、活動行う、意欲的で活力に満ちた社員が集まる会社です。

しかし、個人的な利益がネスレの利益と対立した場合、利害関係の対立が発生する可能性があります。こうした場合、ネスレの最善の利益に資する社員としての責任を果たすことが難しくなります。疑いが生じただけでも、ネスレの評判が損なわれ、人々からの信頼を失う可能性があるのです。

日々の業務姿勢

- ✓ 利害関係の対立については、透明性を持って正直に対応します。利害関係の対立が実際に生じた場合やその疑いがある場合、または今後発生する可能性がある場合、各国の手順に従って速やかに上長や、法務・コンプランス担当部門に報告し、適切な対応を受けるようにしてください。
- ✓ 社外活動、金銭的利益、個人的な人間関係等の私的な理由によって社内の意思決定に影響が生じないよう注意してください。自らの判断に影響が及ぶと思ったら、その意思決定プロセスへの関与は差し控えてください。
- ✓ 社外活動は、ネスレでの職務に影響を与えず、会社に対するリスクをもたらさない場合に限り行ってください。

本規範の実践

Q. ネスレで求人募集があり、私のいとこがその職務に適格だと思っています。いとこを推薦しても良いですか？

A. その職務に適した十分な資格、能力、経験が備わっているのであれば、求人の紹介をしても構いません。自身との関係性を開示して、利害関係の対立の疑いが生じないよう注意してください。また、その採用プロセスに自らが関与してはなりません。採用された場合、当人とは直接的または間接的な上司・部下の関係を持たないよう徹底する必要があります。

疑いが生じただけでも、ネスレの評判が損なわれ、人々からの信頼を失う可能性があるのです

資料

ここをクリックして、詳しい情報や社内資料を確認してください。

声を上げよう（Speak Up）

People manager、人事部、法務・コンプライアンス担当部門に相談するか、**Speak Upシステム**（通報専用窓口）を通して懸念点を報告してください。

本規範について不明な点がある場合は、People manager、法務・コンプライアンス担当部門に相談してください。

利害関係の対立の回避と開示を行います（続き）

もっと詳しく

利害関係の対立が起こり得る状況は数多くあります。こうした場面を認識できるよう学習して回避に努めましょう。利害関係の対立が発生した場合は、速やかに手順に従って報告を行ってください。

社外における要職や役職への就任：他の組織で取締役、顧問、役員、社員、共同経営者、コンサルタントを務めることが利害関係の対立となる場合があります。

ネスレでの職務を妨げることがなく、ネスレの評判や利益にリスクを及ぼすことがなく、そのマーケットヘッドまたは執行役員等責任者の事前承認がある場合に限り、これらの職務に就くことが可能です。しかし、上場企業の役員に就任する際には本社CEOの事前承諾が、または執行役員への就任の場合は本社CEO、会長、取締役会指名委員会からの承諾が必要です。

親族と近親者：ネスレ社内で、社員が、自身の配偶者または近親者その他親族の採用・昇進に関わることは利害関係の対立を生じさせる可能性があります。また、これらの人が働く、もしくは経済的な利害関係をもつ企業と取引を行う、あるいは、取引を行おうとする場合や、これらの人が直接の競合他社で働いている場合も該当します。。

これらの状況はすべて関係部門に対して開示されねばならず、当該社員はその関係性が影響しうる意思決定に対する関与を差し控えなければなりません。開示された内容は関係部門において管理され、必要に応じて軽減措置がとられます。

社内において、社員が配偶者、近親者その他親族と直属的な上司・部下の関係を持つことは認められません。間接的な報告関係がある場合は開示して、ケースバイケースで評価する必要があります。

ネスレにおけるすべての意思決定は、承認済みの手順に準じて公正に透明性をもって行われなければならず、個人的な利益 （配偶者、近親者その他親族の利益を含む）に基づいて優遇をすることは禁じられます。

ビジネスチャンス：社員が、ネスレの競合他社、顧客、サプライヤー、ビジネスパートナーからネスレの業務とは無関係に個人的な業務委託関係（有償）をもつことや、ネスレとの事業機会ならびに在職中に見出したその他のビジネスチャンスを個人的に利用することは利害関係の対立となる場合があります。

社員一人ひとりがネスレの事業発展に完全にコミットする必要があります。いかなる場合にも、ネスレと間接的または直接的に競合するビジネスに従事してはならず、ネスレ在職中に発見した新規のビジネスチャンスは上長に報告する必要があります。ネスレがその権利を放棄し、それが既存の職務に抵触せず、ネスレと競合しない場合に限り、個人的にそのビジネスチャンスを利用する権利が認められる場合があります。個人的なビジネスを通してネスレのサプライヤーとなることを希望する場合においても、上長に報告する必要があります。

経済的利益：競合他社、サプライヤーまたは他のビジネスパートナーと経済的な利害関係を実質的に持つ行為は認められません。この種の経済的な利害関係を持つ前に関係部門に状況を開示して、承認の申請を行ってください。

その他の社外活動：サプライヤー、顧客、ビジネスパートナーまたはその他の**第三者**から情報提供、イベント参加、講演に対する報酬を受ける行為は認められません。

会社の専門知識、ノウハウおよび経験は、ネスレの最も貴重な財産です。イベント参加や講演機会は、ネスレの評判に前向きな影響をもたらし、重要な課題について他者と関わり合う機会を提供してくれますが、ネスレを代表して参加する際には報酬や金銭を受け取ることは回避してください。個人的にビジネス関連のイベントに参加する場合、上長にその旨を伝え、こうした参加がネスレの評判に対するリスクを生まないよう徹底する必要があります。ネスレの機密情報は決して共有しないでください。

自身に問いかけてみてください

利害関係の対立があるか迷った場合は、以下の質問をしてみてください。

この状況から、私自身、家族、近親者が不当な利益や優遇を受けることとなるか？

他者の目に利害関係の対立と映る可能性があるか？

この状況は、自分の判断に何らかの影響を与えるか？

同僚、マネジャーまたは一般の人がこの状況を知ったら、自分が気まずいと感じるか？

上記の質問のいずれかに「**はい**」または「**分からない**」と回答した場合、上長に相談してください。

贈答品、接待に対して責任ある行動をとります

Nestlé way

私たちは、透明性をもって正直かつ誠実にビジネスを行うことが重要だと確信しています。ビジネスパートナーとの関係は、常に不適切な影響がない状態とするべきです。

不適切な贈答品、接待は、ネスレの価値観に対する不信感を生む危険性があります。不適切な意図がないとしても、贈答品の申し出や授受は、ある種の賄賂とみなされる可能性があり、深刻な結果を招くおそれがあります。

日々の業務姿勢

- ✓ 贈答品、接待の授受は控えてください。
- ✓ これらの授受が現地の文化的風習または商慣習上は容認されている場合、良識的な判断をもって、それらが控えめかつ妥当であり正当な目的に沿っていることを確認します。
- ✓ 現地の方針や上限額、贈答品・接待の開示および記録ルールに従います。こうした方針がない場合は、ネスレの最低要件および現地の最も厳格な慣習を適用するものとします。
- ✓ 現金、融資、リベート、その他現金同等物の形をとる贈答品、接待、もてなしについては、金額にかかわらず、授受を行ってはなりません。

本規範の実践

Q. サプライヤーからスポーツ大会のVIP観戦ボックスへの招待を受けました。チケットの値段は現地の接待金額の上限を超えています。ですが、この誘いを断れば相手方を不快な気持ちにさせてしまいそうです。どうすればよいでしょうか？

A. 贈答品の値段が現地で指定された上限額を超える場合は、丁重に断ることを検討してください。そうすることでビジネス関係に悪影響が及ぶ可能性がある場合は、現地の手順に従う方法について、上長や、法務部またはコンプライアンス担当部門に助言を求めてください。

公務員に対する贈答品および接待は？

公務員に対する贈答品および接待の提供は賄賂とみなされやすいため、厳重に注意する必要があります。現地の上限額やガイドラインに従い、公務員やその家族または近親者に贈答品を提供する前に、マーケットヘッドやその他上位の社員から事前承諾を得る必要があります。

ネスレに影響を与える保留中または直近の意思決定に関わる場合には、いかなる性質の贈答品（ネスレ製品を含む）も公務員や関連当局に提供してはなりません。

資料

ここをクリックして、詳しい情報や社内資料を確認してください。

声を上げよう（Speak Up）

People manager、人事部、法務・コンプライアンス担当部門に相談するか、**Speak Upシステム**（通報専用窓口）を通して懸念点を報告してください。

本規範について不明な点がある場合は、People manager、法務・コンプライアンス担当部門に相談してください。

賄賂と汚職を禁じます

Nestlé way

ネスレは、賄賂と汚職に対して一切容認しない（Zero tolerance）という姿勢を堅持しており、贈収賄に関する法令ならびに国連グローバル・コンパクトに基づく当社の汚職防止に対するコミットメントを厳守しています。私たちの成功は、不正利益の取得を求めることではなく、ブランド価値、製品の品質、競争力、そして持続可能なパフォーマンスに基づくものなのです。

私たちは、**贈賄**の申し出を行うことはなく、贈賄を約束をすることもなく、また代理人、仲介者、その他の第三者がネスレに代わってそれらを行うことも容認しません。同様に、優遇措置と引き換えに何らかの有価物を受領することもありません。ネスレのビジネスパートナーは、贈収賄に関する法令を遵守するとともに、「ネスレの責任ある調達基準」および「経営に関する諸原則」に準ずるデューデリジェンス手順に応じなければなりません。

事業を展開する場所や状況にかかわらず、私たちは厳格な誠実性をもってビジネスを行います。現地の法令がネスレの規則ほど厳格ではない場合でも、賄賂と汚職に対するネスレのZero toleranceが適用され、（もしあれば）より厳格な現地の法令または手続きが優先して適用されます。

ネスレのビジネスパートナーは、贈収賄に関する法令を遵守するとともに、当社のデューデリジェンス手順に応じなければなりません

日々の業務姿勢

- ✓ 自分の職務範囲における贈賄や汚職のリスクを認識し、他者から見て不倫理的に見える可能性のあるやり取りには注意を払います。
- ✓ 第三者の意思決定に影響を与える目的で、（金銭その他を問わず）個人的または不適切な利益の提供または約束をしてはならず、不適切な便宜提供の見返りとして何らかの有価物を受領してはなりません。これには間接的なリベートや家族や近親者への支払いも含まれます。
- ✓ すべての事業および財務取引が適切に記録され、分類され、文書化されていることを徹底します。
  これには、贈答品、接待、奨学金、助成金、協賛、慈善寄付が含まれます。
- ✓ 公務員や公共部門の職員とやり取りを行う際は慎重に対応してください。事務処理を急がせたり確約させたりするための**ファシリテーション・ペイメント**も贈賄に該当する可能性があるため禁じられています。

本規範の実践

Q. 娘がネスレが進出しようとしている新興市場の規制状況に関する「戦略的アドバイス」を提供するコンサルタント企業に就職しました。 契約書には、最低限の一般的な職務しか記載されておらず、成果物や期限は指定されていませんが、多額な成功報酬が不定期に支払われます。どうすればよいでしょうか？

A. 曖昧なコンサルティング契約は不正な支払いの隠れ蓑になる場合があります。明確な成果物の記載がない場合、実際に提供される役務の内容を評価することは難しく、非倫理的かつ違法な行為の隠蔽が容易くなってしまいます。懸念点を上長、法務・コンプライアンス担当部門に相談するか、Speak Upを通して報告してください。

気づいたら声を上げよう（SpeakUp）！

「これは内密ということで」

「特別に手配して解決することもできますよ」

「少し配慮してもらえたら、処理を急ぐこともできますが」

「寄付をしてくれれば、リストのトップに載せてあげますよ」

内密の報酬、心付け、仕事のオファー、贈答品または政治献金はすべて、偽装された賄賂の可能性があります。不適切な便宜に見えたら賄賂の可能性があると考え、速やかに報告してください。

資料

ここをクリック して、詳しい情報や社内資料を確認してください。

声を上げよう（Speak Up）

People manager、人事部、法務・コンプライアンス担当部門に相談するか、**Speak Upシステム**（通報専用窓口）を通して懸念点を報告してください。

本規範について不明な点がある場合は、People manager、法務・コンプライアンス担当部門に相談してください。

賄賂と汚職を禁じます（続き）

もっと詳しく

Q. 政治資金の寄付を行ってもよいですか？

A. 多くの法域における選挙法では、政党または候補者に対する企業の政治献金を禁止しています。ネスレでも、スイスの親会社が行う場合を除き、こうした献金は禁止されています。政治献金や方針に反した行動には、**CEO**および会長の承認が必要です。

Q. 奨学金、非営利目的の協賛金、慈善寄付、助成金の場合はどうでしょう？

A. ネスレは、奨学金、助成金、慈善寄付、非営利目的の協賛金を科学、栄養、健康管理またはその他社会に有益な目的のために提供する場合があります。

しかし、それらは決して不適切な便益をネスレにもたらすものであってはなりませんし、ネスレ製品を推奨することを条件とするものであってはなりません。 金銭受領者の評判、実績および意図される目的への妥当性、社会的な利益等の評価を含め、適切な審査および承認手順に従ってください。

この審査および選定プロセスにはコーポレートアフェアーズ部門が関与し、多額の支出については、マーケットヘッドまたはその他の指名された責任者の承認を受け、文書にて記録を残さなければなりません。

Q. ネスレを代表する者の不適切な行為を防止する方法は？第三者がネスレの名のもとに不適切な行動を取ることを防ぐにはどうすればよいか

A. ネスレが賄賂の支払いや不正行為の関与に第三者を利用することは決してありません。ネスレは、サプライヤー、サービスプロバイダー、卸店およびネスレを代理して活動する第三者に対し、正直に、贈収賄に関する法令を遵守して行動するよう求めます。

あるサプライヤーからの購買、サービス提供者との取引開始、ある代理店や卸店の指名の決定は、適切なデューデリジェンス手順に従わなければなりません。第三者がネスレに代わって不適切または違法な取引に関与していることが明らかになり、またはそのような様子がみられたときは、直ちに法務部およびコンプライアンス担当部門に報告してください。

Q. 賄賂を受け取らなかったら身の危険があるという場合は？

A. 社員または関係者が脅迫される、またはネスレを代表して賄賂を受領しなかったら身体に危険が及ぶという状況に陥った場合には、社員および関係者の安全性が最優先です。法務部、コンプライアンス担当部門とネスレグループのセキュリティチームに速やかに通知することで、適切な是正措置を講じることができます。

資料

ここをクリック して、詳しい情報や社内資料を確認してください。

声を上げよう（Speak Up）

People manager、人事部、法務・コンプライアンス担当部門に相談するか、**Speak Upシステム**（通報専用窓口）を通して懸念点を報告してください。

本規範について不明な点がある場合は、People manager、法務・コンプライアンス担当部門に相談してください。

正確な記録を保持して詐欺行為を防止します

Nestlé way

将来の計画を立てるとき、投資家が意志決定をするとき、株主が人々の生活や食料の未来に対するネスレの影響を評価するとき、ネスレの財務や運営状況、企業として直面する機会や問題を正しく理解するために透明性のある正確な情報が必要となります。

ネスレが管理する事業、財務、財務以外の記録（会計、在庫、発注書、請求書、商品書、契約書、販売予測、経費報告、KPI、タイムシート等）の正確性を徹底することは、社員一人ひとりの責任です。不正確な記録や報告に係る虚偽表示や不誠実な行為は禁止されています。

日々な業務姿勢

- ✓ 取引が明確かつ正確、完全に記録に反映されるよう、社内手順およびポリシーに従います。
- ✓ ネスレまたは第三者に関わる虚偽の申告をしたり、事実を歪めて伝えたり、ネスレや第三者にかかわる詐欺行為に関与しません。
- ✓ 財務または非財務情報を報告する責任がある場合、これらの記録が公正かつ正確で、該当するネスレのポリシーおよび基準に従っていることを徹底します。

本規範の実践

Q. 長年取引のある仕入先から納品がありましたが、不注意で注文の一部が抜けていました。「残りは今週中に納品するので、とりあえず納品書にサインしてほしい」と言われました。どうしたらいいでしょう？

A. 請求書や納品書の内容に間違いがあると知りながらサインをすることは不正行為にあたります。ネスレの評判を損ない、当人には懲戒処分や法的責任が課される場合があります。 届けられた数量を反映した納品書を新たに作成するようサプライヤーに丁重に依頼してください。サプライヤーがネスレを意図的に騙そうとしているとの根拠がある場合は、その旨を上長、法務部およびコンプライアンス担当部門に報告してください。

ネスレが管理する事業、財務、財務以外の記録の正確性を徹底することは、社員一人ひとりの責任です

資料

ここをクリックして、詳しい情報や社内資料を確認してください。

声を上げよう（Speak Up）

People manager、人事部、法務・コンプライアンス担当部門に相談するか、**Speak Upシステム**（通報専用窓口）を通して懸念点を報告してください。

本規範について不明な点がある場合は、People manager、法務・コンプライアンス担当部門に相談してください。

会社の財産を保護します

Nestlé way

ネスレでの在職中、日常業務で最善を尽くすことができるよう、社員には,必要に応じて、以下を含む会社財産を使用する権利が与えられています。

- 製品在庫、ノートパソコン、携帯電話、自動車、および独自の工場設備や研究開発機器などの物的財産
- ソフトウェアや情報システム、顧客および消費者データベース、マーケティング・広告関連データ等のデジタルおよび電子財産
- 商標、特許、営業秘密、アイデアおよび発明等の知的財産

全社員は、会社の財産を適切かつ効率的に使用する責任を負っています。それがネスレの事業拡大と成功に向けた能力に必要不可欠なのです。ネスレは、法で認められる範囲で、社員による会社財産の利用を監視・点検する権利を留保します。

日々の業務姿勢

✓ ネスレの財産を自らの財産と同等の注意をもって扱い、損失、損害、誤用、盗難または詐欺から保護します。

✓ 会社財産を意図された目的に使用します。ネスレの財産または技術を違法・非倫理的な活動（他者に不快感を与えるコンテンツへのアクセスまたは流布等）に使用してはなりません。

✓ 会社財産はネスレに帰属することを忘れず、これを私益に利用せず、すべての財産および機密情報が退社時に保管場所に戻されていることを徹底します。承認なく情報をダウンロードまたは複製することは会社のポリシーの違反であり、懲戒処分または法的責任の対象となる場合があります。

本規範の実践

Q. 出張中にラップトップが盗まれました。どうすればいいでしょうか？

A. デバイスは常に細心の注意もって扱い、安全かつセキュリティが確保された場所に保管する必要があります。盗まれたデバイスについては、速やかに上長およびIT部門に報告をしてください。

全社員は、会社の財産を適切かつ効率的に使用する責任を負っています。それがネスレの事業拡大と成功に向けた能力に必要不可欠なのです

資料

ここをクリックして、詳しい情報や社内資料を確認してください。

声を上げよう（Speak Up）

People manager、人事部、法務・コンプライアンス担当部門に相談するか、**Speak Upシステム**（通報専用窓口）を通して懸念点を報告してください。

本規範について不明な点がある場合は、People manager、法務・コンプライアンス担当部門に相談してください。

機密情報を保護します

Nestlé way

新しい製品フォーマットやフレーバーの開発から、サステナビリティや栄養価の向上に至るまで、ネスレが「Good food, Good life」カンパニーであることの意味を、さらに広げ、進化させています。こうした取り組みにおいては、ネスレの競争優位性を守るために、機密情報やその他の非公開情報を慎重に管理することも求められます。

機密情報を無断で共有することは、会社のポリシーに違反する行為であり、法的責任を伴う場合があります。社員が以前の雇用先で取得した機密情報をネスレが取得または使用することは決してありません。

日常的な業務姿勢

- ✓ 自らが管理する情報の種類や情報管理に適用される規則を理解します。不明な点がある場合は指示を仰いでください。
- ✓ 承認を得た機密情報のみ共有することができます。ネスレとの雇用期間が終了しているかを問わず、機密情報については、SNS投稿や友人・家族との共有も未承認のものは認められません。社内での情報共有にも注意を払ってください。
- ✓ ビジネスパートナー、サプライヤー、顧客の情報についても同等の注意と配慮を払います。
- ✓ 会社のデータを取り扱う際および会社のデバイスにはネスレが承認したソフトウェア、技術および情報システムのみを使用します。データセキュリティのルールに従い、すべての電子機器の保護に取り組みます。
- ✓ 他者に聞かれる可能性のある公の場で機密情報について会話することは控えます。

本規範の実践

Q. 数か月間開発に取り組んできた新製品が、まもなく発売される予定です。先日、元同僚たちとの飲みの席でその話題が出ました。話してもよいのでしょうか？

A. 社外の人（元同僚を含む）とまたは公の場で会話をする際には、製品開発や新商品発売の情報を含む機密情報について触れないよう厳重に注意してください。 原則として、ネスレが公表していない情報の開示は回避しなければなりません。

機密情報は数多くありますが、以下にその例を上げています。

- 取引上の秘密　取引上の機密情報
- ノウハウ
- 事業計画
- 研究開発
- マーケティングおよび価格戦略
- コンシューマーインサイト
- エンジニアリングや製造上のアイデア
- 製品レシピ
- 商標、デザイン
- 給与情報
- 未公開の財務情報

資料

ここをクリックして、詳しい情報や社内資料を確認してください。

声を上げよう（Speak Up）

People manager、人事部、法務・コンプライアンス担当部門に相談するか、**Speak Upシステム**（通報専用窓口）を通して懸念点を報告してください。

本規範について不明な点がある場合は、People manager、法務・コンプライアンス担当部門に相談してください。

インサイダー取引のルールを守ります

Nestlé way

ネスレでの在職中、ネスレまたは他社の株価に影響を与えるうるネスレ、サプライヤー、ビジネスパートナーに関する機密情報または未公開情報を知り得る場合があります。これには合併・買収案、幹部の変更、製品発売、重大な訴訟または**販売・財務結果業績**に関する情報等が含まれ、すべて「内部情報」とみなされます。私的な利益を得るために株式取引を通じてこれら情報を使用することは違法となります。

ネスレは、株価に関連する未公開情報を基にして、ネスレの株や有価証券を売買することを禁じています。これを遵守しない場合、解雇を含む懲戒の対象となるだけでなく、刑事責任を問われる場合もあります。

日々の業務姿勢

- ✓ **インサイダー取引**のルールを理解し、内部情報に基づく株式および有価証券の売買を行いません。
- ✓ 内部情報を機密に扱います。内部情報を他者に開示、提供または漏洩することは、投資決定に使用される可能性があるため禁止されています。
- ✓ ネスレの**クローズピリオド**に関する規則を尊重します。財務諸表や販売数値の作成および連絡を担当する社員は、当該期間に適用される追加的な規則を理解し、これに従わなければなりません。

本規範の実践

Q. 同僚が市場で大成功すると期待される新ブランドの発売準備をしています。自分がその株式を購入できないのは知っていますが、夫にそれを知らせて、買うよう勧めてもいいですか？

A. 新規ブランドに関する未公開情報は内部情報ですので、情報を共有することや、他者に株式を購入するよう勧める行為は「情報漏洩」に該当する場合があります。こうした情報共有は、自分自身が利益を受領しない場合でも、法律により禁止されています。

自身に問いかけてみてください。

内部情報かどうかが不明瞭な場合は、自分自身に**以下の問いかけ**をしてください。

未公開の情報ですか？

自分または投資家が株や有価証券の売買に関する決断をする際、これを関連情報とみなしますか？

「はい」と回答した場合は、内部情報の可能性があります。

資料

ここをクリックして、詳しい情報や社内資料を確認してください。

声を上げよう（Speak Up）

People manegar、人事部、法務・コンプライアンス担当部門に相談するか、**Speak Upシステム**（通報専用窓口）を通して懸念点を報告してください。

本規範について不明な点がある場合は、People manager、法務・コンプライアンス担当部門に相談してください。

マネーロンダリングとテロ資金供与を防止します

Nestlé way

ネスレは、ビジネスをする際、マネーロンダリングおよびテロ資金供与防止に関する法に従い、信頼性のある評判の高い企業とのみ取引を行うことを目指します。ネスレがこれら犯罪に関与することはありません。

日々の業務姿勢

- ✓ ビジネス関係を開始する前に、取引先の身元を確認する手順を講じます。自らの役職および該当する第三者に関連する審査およびデューデリジェンス手順に従ってください。
- ✓ 身元が確認された個人または企業宛に限定して支払いを行います。未承認の仲介人または第三者の口座を取引に使用してはなりません。
- ✓ マネーロンダリングやテロ資金供与の警告サインを把握し、懸念点は速やかに報告します。

本規範の実践

Q. サプライヤーが急に入金先を海外の口座に変更したいと言ってきました。危険でしょうか？

A. サプライヤーが新たな銀行情報を提示して（特に租税優遇国の）海外の新たな口座に振込みをするよう依頼してきたら注意をしたほうがいいでしょう。詐欺またはマネーロンダリングの可能性があります。不審に思ったら、支払処理を行わず、上長または調達部担当者に相談してください。

気づいたら声を上げよう（SpeakUp）！

一見して怪しいなら、不正の可能性が高いです。以下はすべて、マネーロンダリングやテロ資金供与の警告サインとなります。

- **現金払いの依頼**
- **取引額が通常の範囲を超えて大きい**
- **通常とは異なるまたは海外から／海外への送金の依頼**
- **取引先の組織構造が不透明または過度に複雑**
- **緊急のまたは不合理な支払い関連の指示**
- **海外の銀行口座を通じた支払いや受領の依頼**
- **外貨両替所の利用依頼**

資料

ここをクリックして、詳しい情報や社内資料を確認してください。

声を上げよう（Speak Up）

People manager、人事部、法務・コンプライアンス担当部門に相談するか、**Speak Upシステム**（通報専用窓口）を通して懸念点を報告してください。

本規範について不明な点がある場合は、People manager、法務・コンプライアンス担当部門に相談してください。

貿易制裁に関するルールを遵守します

Nestlé way

ネスレは、「食の持つ力で、現在そしてこれらからの世代のすべての人々の生活の質を高めていきます」というパーパスを掲げ、世界中で活動を展開しています。その国際的な事業展開を鑑み、私たちは、ネスレ製品やサービス、事業運営に使用する技術の輸出入に適用される国内外の**貿易制裁**措置および貿易管理に関する法を遵守していく必要があります。

ネスレが貿易制裁の違反に関与せず、意図せず他者を貿易管理に関する法に違反させることがないよう徹底することは社員一人ひとりの責任です。貿易制裁関連の法令に違反した場合、ネスレおよび該当する社員が民事または刑事責任を問われる可能性があります。

ビジネスパートナーやその他の第三者を新たに取引先として迎える際には、ネスレのデューデリジェンス手続きを必ず遵守します

日々の業務姿勢

- ✓ 自分の国籍、役職、地域、または事業運営に適用される貿易コンプライアンスに関する規則を理解し、適用を受けるすべての手続きを遵守します。不明点がある場合は、法務・コンプライアンス担当部門やグループ制裁遵守対応センター（Group Sanctions Compliance Competence Center）に相談してください。
- ✓ ビジネスパートナーやその他の第三者を新たに取引先として迎える際には、ネスレのデューデリジェンス手続きを必ず遵守します。特に、貿易や通関業者のサービスを利用する場合は、特段の注意を払って対応してください。
- ✓ ネスレの代わりに第三者に取引をさせたり、非制裁対象国を介した代替経路で制裁対象国に商品、サービスまたは技術を移動させたりすることで貿易制裁の回避を試みてはなりません。

本規範の実践

Q. **長年取引をしてきたサプライヤーが制裁対象国に所在する子会社であることが分かりました。このサプライヤーとのビジネス関係はすべて終了するべきですか？**

A. 貿易制裁に関する法は複雑です。ネスレが制裁対象国と何らかの関連性がある可能性に気づいた場合は、法務・コンプライアンス担当部門に問い合わせて調査を依頼してください。

資料

ここをクリックして、詳しい情報や社内資料を確認してください。

声を上げよう（Speak Up）

People manager、人事部、法務・コンプライアンス担当部門に相談するか、**Speak Upシステム**（通報専用窓口）を通して懸念点を報告してください。

本規範について不明な点がある場合は、Peoplemanager、法務・コンプライアンス担当部門に相談してください。

全力で公正に競争へ臨みます

Nestlé way

私たちは、競争の重要性を認識しています。誰もが製品やサービスの消費者であり、品質や価格に加え、多様性や革新性、そして持続可能性の影響においても選択肢があるのは素晴らしいことだととらえています。

ネスレは、世界中で競争法および独占禁止法に従って全力で競争に挑みます。 私たちは独立して競争し、ネスレの戦略や競合活動において他社と協働しないことを徹底するための厳格な手順を整備しています。そうすることで、会社の評判を守り、顧客、投資家およびビジネスパートナーからの高い信頼性を維持することができるのです。

日々の業務姿勢

- ✓ 自身の役職に関係する競争リスクを理解します。良識的な判断をし、反競争的な行為の可能性について疑問や懸念がある場合は助言を求めます。
- ✓ 以下について（正式か非正式かを問わず）他社に同意しません。
  - 賃金または価格の固定化（売買の双方）
  - 顧客またはサプライヤーの割当またはブラックリスト作成または領域または製品市場の区分
  - あらゆる形式の入札談合への参加
  - 労働市場の制限または新規競合者の阻害
- ✓ 競合他社とのやり取り（合法的な協業、業界団体やそれに類する会合への参加を含む）には注意を払います。必要であれば、協議の場を離れてください。 ネスレはコーヒーのような消費者向けの類似製品を販売する企業と競争するだけでなく、製品を市場に届けるために必要な包装資材等を調達する企業とも競争しています。
- ✓ 倫理的および合法的に市場情報を収集します。合法的な理由または適切な法的枠組みなしに機密情報を他社と共有してはなりません。

ネスレは、世界中の競争法および独占禁止法に従って全力で競争に臨みます

資料

ここをクリックして、詳しい情報や社内資料を確認してください。

声を上げよう（Speak Up）

People manager、人事部、法務・コンプライアンス担当部門に相談するか、**Speak Upシステム**（通報専用窓口）を通して懸念点を報告してください。

本規範について不明な点がある場合は、People ,manager、法務・コンプライアンス担当部門に相談してください。

責任ある情報発信とアドボカシー（提言）に取り組みます

Nestlé way

ネスレは、社会と積極的に関わることで、人々の健やかな生活と持続可能な地球環境の推進および貢献に取り組んでいます。グローバルな規模と多様な事業領域を持つネスレは、複雑な文化、規制、そして政治的な環境の中で事業を展開しています。

産業や市民社会との建設的な連携に取り組むことで、世界の気候およびサステナビリティの問題に対する解決策を見出していきます。政府やその他ステークホルダーとの関わり合いは、ネスレの価値観や経営に関する諸原則を常に遵守した責任ある透明性が保たれたものでなければなりません。

日々の業務姿勢

- ✓ 政府代表者、公的機関、市民社会または産業団体と関わり合う際には誠実かつ正直に行動します。
- ✓ SNSでのやり取りは丁重に行います。政治的または党派的な話題に触れる際には、その意見が個人的なものであることを明確にしてください。
- ✓ ロビー活動やアドボカシー活動に参加する際には、ネスレの見解を外部に提言する権限ある代表者として上長から承認を受けていることを徹底します。承認されたネスレの見解のみを伝え、こうしたやり取りでの内容や結果を正確かつ適時に報告します。

本規範の実践

Q. ネスレの事業展開が限定的な国の工場でゼネラルマネージャーを務めています。現地の議員がイベントに招待してくれました。通常、外部イベントでネスレを代表することはありません。どうすればいいでしょう？

A. ネスレ代表としてみなされるようなイベントに参加する前に、上長に相談して、あなたとネスレにとって参加が適切かを判断するようにしてください。マネージャーは、法務・コンプライアンス担当部門およびコーポレートアフェアーズ統括部に問い合わせることができます。イベントに公務員も出席する場合、ネスレを代表する社員としての承認が必要で、イベントで行われた協議の内容を記録する必要があります。

資料

ここをクリックして、詳しい情報や社内資料を確認してください。

声を上げよう（Speak Up）

People manager、人事部、法務・コンプライアンス担当部門に相談するか、**Speak Upシステム**（通報専用窓口）を通して懸念点を報告してください。

本規範について不明な点がある場合は、People manager、法務・コンプライアンス担当部門に相談してください。

データを倫理的に管理します

Nestlé way

ネスレは敬意に根差した価値観を堅持しており、これには個人のプライバシー保護も含まれます。個人情報の保護に対して課された自らの責任を真摯に受け止め、 責任ある倫理的な方法で情報を使用することにより、ネスレの個人情報保護体制への信頼性を高めることができるよう取り組みます。

私たちが事業を展開する**全領域におけるすべてのすべての地域の**データプライバシーおよび個人情報保護関連の法令を遵守します。ネスレの「グローバルプライバシープログラム」および「データ倫理的枠組み」は、プライバシー保護および倫理的なデータ管理を事業運営のあらゆる面に根付かせる取り組みです。

日々の業務姿勢

- ✓ ネスレのデータ利用ルールを理解し透明性を保ちます。必要がある場合、そして特定の合法的かつ公正な目的に限定して、個人情報を収集および管理します。
- ✓ 同僚、顧客およびビジネスパートナー等の他者のプライバシーを尊重し、プライバシー侵害を未然に防ぐために、どのような行動ができるか意識します。
- ✓ データプライバシーやセキュリティに関する懸念がある場合や問題が生じた場合は、ネスレサイバーセキュリティオペレーションセンターに報告します。

ネスレは敬意に根差した価値観を堅持しており、これには個人のプライバシー保護も含まれます

本規範の実践

Q. 複数の同僚に関する機密性の高い個人情報が含まれたメールのCC（宛先）に自分が含まれていました。どうすればいいですか？

A. こうした情報は個人情報とみなされ、個人情報の侵害とみなされる場合があります。メールを削除して送信者に速やかに通知してください。あわせて個人情報保護管理責任者（Chief Privacy Officer）に連絡して適切な対応に関する助言を受けてください。

個人情報とは？

個人情報とは、生存する特定の個人を識別することができる情報をいいます（含「他の情報と容易に照合することにより特定の個人を識別することができる情報」）。

例：

- 氏名
- 住所
- 電話番号
- メールアドレス
- 社員ID番号

要配慮個人情報は、追加的な管理策により保護されています。

例：

宗教的な信仰　信条

- 人種または民族的背景
- 政治的信念　　信条
- 医療健康情報または生体認証情報
- 性生活または性的指向
- 労働組合の加入状況

AIについて：

人工知能（AI）は、ビジネスや日常生活に急速な変革をもたらしています。ネスレにとって魅力的な機会を創出する一方、重大な法的・倫理的問題が生じることもあります。ここでは、皆さんが知っておくべきポイントを紹介します。

- AIがもたらす機会と制限を理解し、使用前に該当する目的に対して妥当かを確認します。
- AIを使用する際にはネスレのポリシーおよび基準に従い、その特定の使用方法について不明点がある場合には助言を求めます。
- 適切なリスク評価およびモニタリング措置（人間による監視を含む）を採用して、責任ある倫理的なAIの使用を徹底します。

資料

ここをクリックして、詳しい情報や社内資料を確認してください。

声を上げよう（Speak Up）

People manager、人事部、法務・コンプライアンス担当部門に相談するか、**Speak Upシステム**（通報専用窓口）を通して懸念点を報告してください。

本規範について不明な点がある場合は、People manager、法務・コンプライアンス担当部門に相談してください。

資料

> Nestlé Purpose and Values（ネスレのパーパスと価値観）
> Nestlé Corporate Business Principles（ネスレ経営に関する諸原則）
> Nestlé Strategic Virtuous Circle（ネスレの好循環）

第2章: 私たちの消費者

製品の品質と安全性の確保に尽力します

> Nestlé Quality Policy（ネスレ品質方針）

責任あるマーケティングコミュニケーションを行います

> Brand ESG Communications Standard（ブランドESGコミュニケーション基準）
> Brand Communication Guidelines related to D&I（ダイバーシティ／インクルージョンに関するブランドコミュニケーションガイドライン）
> Consumer Communication Principles（消費者とのコミュニケーションに関する諸原則）
> Data Ethics Charter（データ倫理憲章）
> Good For You Strategy（Good For You戦略）
> Marketing Communication to Children Policy（子どもへのマーケティングコミュニケーションに関するネスレのポリシー）
> Marketing Communication to Children Guidelines（子どもへのマーケティングコミュニケーションに関するガイドライン）
> Nestlé Digital Responsibility Plan（ネスレ責任あるデジタルプラン）
> Policy For Implementing the WHO Code（WHO基準の導入に関するポリシー）

第3章: 私たちの社員とバリューチェーン

安全で健康な職場環境をつくります

> Policy on Safety and Health at Work（労働安全衛生方針）
> Policy on Conditions of Work and Employment（職場・雇用条件に関する方針）
> Life-Saving Rules（人命を守るためのルール）
> Employee Assistance Program (EAP), where available（必要に応じて、社員支援プログラム）

お互いにに敬意を払います

> Nestlé Policy Against Discrimination, Violence and Harassment at Work（職場での差別、暴力、ハラスメント防止に関するポリシー）
> Policy on Conditions of Work and Employment （職場・雇用条件に関する方針）
> Employee Relations Policy（**エンプロイーリレーションズポリシー**）
> Guidance on Disability（障がいに関するガイダンス）

人間の尊厳を守り、人権を尊重します

> Human Rights Policy（人権に関する方針）
> Human Rights Framework and Roadmap（人権フレームワークとロードマップ）
> Human Rights Salient Issue Action Plans（人権に関する顕著な課題に対するアクションプラン）
> Responsible Sourcing Core Requirements（責任ある調達の基本要件）

責任ある調達で地球の保全に取り組みます

> Nestlé Responsible Sourcing Core Requirements （責任ある調達の基本要件）
> Nestlé Net Zero Roadmap（ネスレ温室効果ガス排出量実質ゼロへの道）

第4章: 私たちのビジネスに対する誠実さ

利害関係の対立の回避と開示を行います

> The Nest – 利益相反のページ
> 臨時的な利益相反報告フォーム

贈答品、接待に対して責任ある行動をとります

> Minimum Requirements for Gifts, Entertainment and Hospitality（贈答品、接待に関する最低要件）

賄賂と汚職を禁じます

> Community Giving Handbook（コミュニティギビングハンドブック）

正確な記録を保持して詐欺行為を防止します

> Financial Information Disclosure Policy（財務情報開示方針）
> Non-Financial Reporting Standard（非財務報告基準）
> Nestlé Accounting Standards （ネスレ会計原則）
> Records Retention & Destruction Standard（記録保持＆破棄基準）
> Fraud Investigation and Reporting Guidelines（詐欺調査および報告ガイドライン）

会社の財産を保護します

> The Nest – ITセキュリティ&コンプライアンスのページ
> Nestlé End User Security Policy（ネスレエンドユーザーセキュリティポリシー）
> Protecting trade secrets RISE form（企業秘密保護RISEフォーム）

機密情報を保護します

> Information Classification Standard（情報分類基準）
> Financial Information Disclosure Policy（財務情報開示方針）
> Nestlé End User Security Policy（エンドユーザーセキュリティポリシー）

インサイダー取引のルールを守ります

> Policy on Inside Information（内部情報に関する方針）

貿易制裁に関するルールを遵守します

> Sanctions Compliance Standard（制裁遵守基準）

公正な競争に全力で取り組みます

> Nestlé Group Antitrust Policy（グループ独占禁止方針）

データを倫理的に管理します

> Privacy Policy（プライバシーポリシー）
> Privacy Standard（プライバシー基準）
> Information Classification Standard（情報分類基準）
> Nestlé End User Security Policy（エンドユーザーセキュリティポリシー）
> Generative Artificial Intelligence Responsible Use Guidance（生成AIの責任ある使用に関するガイダンス）

責任ある情報発信とアドボカシー（提言）に取り組みます

> Nestlé Policy on Transparent Interactions with Public Authorities（公的機関との透明性のある関与に関する方針）
> Employee Guidelines for Digital and Social Media（デジタル＆ソーシャルメディアに関する社員向けガイドライン

用語集

賄賂
不正または違法な行為をさせることを目的として、贈答品、融資、手数料、報酬、その他の利益を他人に与えたり、他人から受け取ったりすることをいいます。

クローズピリオド
ネスレの**財務結果**業績が公表される前の一定期間で、この期間中は社内関係者によるネスレ証券の取引が禁止されます。クローズピリオド期間は、各四半期の初日から**財務結果**業績または売上高が公表される日まで（同日を含む）とします。

ファシリテーション・ペイメント
通常、通関、査証申請、許認可、ライセンス等の行政的な事務処理を急がせたり確約させたりするために公務員に支払われる心付けをいいます。

「誠実に」
相手を騙す意図なく、誠実かつ正直に行動することをいいます。

インサイダー取引
価格に影響を与える情報やその他の機密情報を使用、開示、これらの情報に基づいてネスレ株式の取引を他者に推奨することにより、利益を取得するまたは取得しようとすることをいいます。

リベート
取引を不正に円滑に進めることへの報酬として支払われる不正な金銭をいいます。

ネスレグループ子会社
ネスレグループの連結財務諸表に完全連結の方法により含まれるネスレの全子会社をいいます。

第三者
ネスレが関わる顧客、卸店、仕入先、サービスプロバイダー、公務員、医者その他の専門家をいいます。

貿易制裁
個人、法人または**特定の法域**管轄区域を対象とすることがある貿易障壁、関税、その他の外交政策に基づく貿易制限等、経済および輸出管理に関する法規制をいいます。これらに違反した場合、行政的または刑事的措置の対象となる可能性があります。